

令和4年度 放課後等デイサービス自己評価結果を公表します。

旭川荘真庭地域センターさくら

職員による自己評価

□環境面

評価が高かった。

□業務改善

支援会議に参加しにくい職員には、個別に意見交換を行っている。職員の資質向上では強度行動障害に関する研修や内部研修を受けることができた。

□適切な支援の提供

活動や支援に関する役割分担等の打ち合わせができていないことがある。記録や支援の振り返りに関しては、タブレットで記録の記入や見直しができるようになった。

□関係機関や保護者との連携

他事業所との連携は行えているが、障害のない子どもと活動する機会はつくることができていない。

□保護者への説明責任

概ね高評価であるが、保護者同士が集える場づくりが課題としてあるが、センターでのお祭りを開催することで保護者同士が顔を合わせる機会をつくることができた。

□非常時の対応

内部研修での虐待、人権研修により意識を高めることができた。

保護者による評価

□環境面

概ね高評価であった。

□適切な支援の提供

障害のない子どもとの交流に関してはどちらともいえないという評価があった。

□家族への説明・情報発信

面談や相談についてはどちらともいえないという評価があった。また、苦情はないとの意見があった。

□非常時の対応

マニュアルの周知や必要な訓練については、どちらともいえないという意見があった。

□満足度

高評価が得られた。

事業所内での分析

【共通点】

- 環境面、関係機関や保護者への説明・発信は良い評価を得ている。
- 地域との関わりや子ども同士の交流ができていない。

【相違点】

- 保護者同士の連携について保護者は高評価であるが、職員は以前に行っていた茶話会等、保護者同士のつながりが持てる機会を提供したいと感じている。
- 非常時の対応について、マニュアルや訓練等の内容が保護者に伝わっていない。
- 保護者からは適切な支援が行われているとの評価であるが、職員間では、活動や支援に対する打ち合わせや役割分担が不十分と感じている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・環境、設備面で充実している。
(バリアフリー)
- ・入浴サービスがある。
- ・専門スタッフが勤務(PT、OT、看護師等)
- ・医療ケアの必要な児を受け入れることができる。
- ・自立支援協議会の協議に定期的に参加している。
- ・施設内研修を定期的に行っている。
- ・ICTの活用がすすんでいる。

事業所の改善点

- ・障害のない児と関わる機会がない。
- ・保護者同士の情報共有の場がない。
- ・保護者に非常時のマニュアルや訓練についての情報が伝わっていないことがある。
- ・スタッフ間での情報共有が足りない部分がある。

事業所の改善への取り組み

- 地域の行事や公共機関を利用し、地域資源の利用や健常児との関わるの機会をつくる。
- 実施方法を工夫しながら、保護者同士のつながりの場をつくる。
- 非常時に備えた訓練等について発信を分かりやすい形で行う。
- 具体的な支援や役割について共有する場や方法を見つける。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

課題となっている地域の方々や健常児との関わりについては、入浴支援や日々のケアを継続しながら取り組む難しさを感じています。しかし、市内の公共機関や地域資源を有効に利用しながらまずは地域とのつながりを持つことができると思っています。ここ数年、感染症の拡大により様々な活動の範囲が狭くなっていましたが、今年度は湯原うつぎまつりを開催し、家族・利用者同士のつながりの場を持つことができました。日々の支援に加え、家族同士が気軽に情報共有を行える機会をつくっていきたいです。家族の皆様には、アンケートにご協力を頂き、改めてお礼申し上げます。より充実したサービスをご提供できるよう見守って頂ければ幸いです。

		チェック項目	はい(人)	どちらとも いえない (人)	いいえ(人)	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			曜日によって適切な配置にならないことがあると答えた職員あり
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			事業所全体がバリアフリーである
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1		無回答1 勤務時間の違いにより集まって相談し合うことは難しい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1		無回答1
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			無回答1
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2		無回答1
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2		年3回の施設内研修。強度行動障害や食事に関する研修を受けている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	独自のフェイスシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		会議で話し合いを行うが、常に内容を共有できているわけではない。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		季節の行事やその他の行事、活動を工夫している。(ポッチャ、外出、クッキング等)
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	2	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3		リハスタッフも同席しての打ち合わせは難しいが、支援スタッフ間で役割について確認し合うことはできそう。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	1	毎日の決められた振り返りの場はないが、スタッフ間で確認しあったり、スタッフ会議の中で振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		今年度より、記録にソフトを活用。タブレット等ですぐに記入や見直しができるようになった。検証、改善は十分ではない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	1		無回答1

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4			計画作成を担当する職員が会議に参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	1		無回答1 下校後に利用する児はいないが、年間予定や一部利用者は連絡帳を共有し、情報共有をはかっている。また卒業へ向けての実習の受け入れを積極的に行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1		医療ケア指示書により、緊急時や医療ケアに対するマニュアルを作成している。また、必要な情報は本人の受診時に伺ってもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	1	他事業所を利用している児に関しては連絡を取り合うが、就学に該当する対象児がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			放デイ終了後、そのまま自事業(生活介護)に移行するケースがほとんどである。その他事業所には担当者会議にて情報を共有する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	荘内指導看護師より、指導を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	コロナにより施設利用者以外との接触が難しく、実施できていない。主に(土)利用である為、設定が難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		自立支援協議会子ども子育て部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		連絡帳や送迎時にやりとりができるようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	3	個々にショートステイや本人の特性について情報共有を行っているが、職員の中で具体的に支援を行っている意識が薄い。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3		無回答1 保護者が集うことはできていないが、コロナ禍で未実施であったうつぎまつりを開催できた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			センター通信や事業所の広報誌を定期的に出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1	年1回、地域の人を招いてのイベントを開催(コロナにより、今年度はなし)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		個別に緊急時の対応マニュアルは作成、家族の同意を得ている。マニュアルの存在は保護者に知らせている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			無回答1 センター全体での避難訓練に加え、放デイ利用者が多い(土)に避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止、人権についての研修会を内部で実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3			無回答1 対象児はなし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2		1	無回答1 対象児はなし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			決められたシートに記入し、その都度全職員で振り返りをして対策を行っている。

		チェック項目	はい(人)	どちらとも いいない (人)	いいえ(人)	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	2			
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2			
	9	保護者に対して面談や、家庭での過ごし方に関する相談等の支援が行われているか	1	1		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1			苦情を聞いていない
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2			
	14	個人情報に十分注意しているか	2			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	2			
	18	事業所の支援に満足しているか	2			